

## 講座・部門紹介

URL <http://www.fmu.ac.jp/home/biochem2/biochem2-top.htm>

免疫とは感染に対して抵抗性を示す能力をいい、その機序とその破綻によって引き起こされる疾患を理解し、治療に結びつけるのが免疫学です。当講座は免疫学の中でも感染初期における生体防御反応である自然免疫の解明と、自己成分に向けられた免疫応答によって引き起こされる自己免疫疾患の解明に重きを置いています。学内臨床講座はもちろん、国内国外の研究機関との共同研究を積極的に推進しております。

## staff スタッフ紹介

### 研修医、臨床医入学時の研究分野

1. 自然免疫における補体レクチン経路の役割  
ー特に補体レクチン経路の分子基盤ー
2. 自己免疫疾患における自然免疫の役割  
ー特にループス腎炎における補体レクチン経路と第二経路の関与ー

### 講座・部門の主な研究内容

1. 分子生物学的手法を用いた自然免疫特に補体レクチン経路の生体における役割の解明
2. MASP欠損マウス、フィコリン欠損マウスによる解析補体活性化因子のリコンビナントタンパク質作製とその活性の測定
3. SLEモデルマウスを用いたループス腎炎の病態の解明

### 講座・部門からのメッセージ

現在の医学は基礎医学研究の発展の上に成り立っているといっても過言ではありません。当講座は免疫学を中心とした基礎系の講座です。直接臨床経験を積む場は提供できませんが、最先端の生化学的及び分子生物学的手法を常に取り入れて研究を行っています。是非、臨床系の大学院生の方等、基礎的な研究に触れてみたい方の訪問を歓迎します。